

施策評価調書(1)

評価対象年度 28年度

めざす姿	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち”
施策名	4 魅力ある農業の振興
施策関係課	経済部:農政課、グリーンセンター

●施策の基本方針(目標)

歴史と伝統を誇る花き・植木や野菜といった本市の農産物(生産地)のブランド力向上と販路拡大を図るとともに、首都圏で貴重な農地を保全する仕組みを作ることで、都市農業の振興につなげていきます。

●目標指標								
指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査)			単位	%	指標の種別	成果
	目標値	現状値を上回る(平成32年度)		現状値	45.7(平成27年度)		達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)		
	実績値	47.3						
指標②	名称	市内総生産額(農業)			単位	百万円	指標の種別	成果
	目標値	県内市町村における伸び率を上回る(平成32年度)		現状値	1,306(平成24年度)		達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)		
	実績値	1,392(平成26年)						
指標③	名称	市民農園区画数			単位	区画	指標の種別	成果
	目標値	572(平成32年度)		現状値	492(平成26年度)		達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)		
	実績値	579						
指標④	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)		
	実績値							
指標⑤	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)		
	実績値							

*「達成状況」: 目標年度に判定します。(目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」)

	(単位:千円)	28年度決算見込額	29年度予算額	30年度計画額	31年度計画額	32年度計画額
事業額	事業費	367,226	367,592	371,735		
	概算人件費	186,642	179,712	178,542		
	総事業費	553,868	547,304	550,277		

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 48	単位施策② 53	単位施策③	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
			50.5		

施策評価調書(2)

評価対象年度 28年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名		① 都市農業の振興					
事業コード	事業名称	担当課	28年度 事業費 (決算見込額)	29年度 事業費 (予算額)	30年度 事業費 (計画額)	28年度の 総評価	29年度の 実施方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費		
34100102	川口緑化センター指定管理者管理運営費	経済部 農政課	125,336	123,513	133,303	50	現状維持で実施
			1,640	1,560	2,340		
34100302	都市農業対策事業	経済部 農政課	65	250	250	46	効率化して実施
			2,050	2,730	2,340		
34100401	川口農業塾開催事業	経済部 農政課	1,559	1,947	1,947	48	現状維持で実施
			8,200	7,800	7,800		
34100501	農業委員会運営費	経済部 農政課	16,981	15,509	14,534	50	拡充して実施
			8,200	7,800	7,800		
34100601	農地基本台帳管理システム費	経済部 農政課	1,003	1,055	1,055	52	現状維持で実施
			3,280	3,120	3,120		
34100701	農政関係広報事業	経済部 農政課	69	98	98	50	拡充して実施
			1,394	1,326	1,326		
34100801	農政審議会経費	経済部 農政課	89	391	391	46	拡充して実施
			984	2,340	2,340		
34100901	農業経営改善事業	経済部 農政課	0	132	132	39	効率化して実施
			2,050	1,950	1,950		
34101001	緑化産業活性化事業	経済部 農政課	1,230	1,630	1,630	53	拡充して実施
			3,280	3,120	3,120		
34101101	園芸振興事業	経済部 農政課	4,859	5,400	5,400	55	拡充して実施
			3,280	3,120	3,120		
34101201	農業改良普及事業	経済部 農政課	5,186	5,200	5,200	53	現状維持で実施
			6,150	5,850	5,850		
34101301	植物取引センター指定管理者管理運営費	経済部 農政課	17,895	17,780	18,813	48	現状維持で実施
			410	390	780		
34101401	特産園芸品展示即売会開催事業	経済部 農政課	2,317	0	0	44	廃止
			1,640	0	0		
34101501	第8回世界盆栽大会出展事業	経済部 農政課	1,760	2,096	0	50	現状維持で実施
			2,870	1,950	0		
34101601	農産物生産等実態調査事業	経済部 農政課	435	521	521	46	現状維持で実施
			902	858	858		
34101701	農業施設設置助成事業	経済部 農政課	0	750	750	35	現状維持で実施
			1,230	1,170	1,170		
34101801	農業金融対策事業	経済部 農政課	277	287	287	52	現状維持で実施
			1,230	1,170	1,170		
34101901	グリーンセンター施設運営費	経済部 グリーンセンター	22,453	24,124	24,124	44	現状維持で実施
			1,722	1,638	1,638		
34102001	イベント広報事業	経済部 グリーンセンター	15,134	15,730	15,730	44	現状維持で実施
			32,800	31,200	31,200		
34102101	わんぱく広場遊園事業	経済部 グリーンセンター	37,988	38,450	38,450	44	現状維持で実施
			9,850	11,700	11,700		
34102201	植物園花木展示事業	経済部 グリーンセンター	78,390	77,715	74,106	48	拡充して実施
			41,000	39,000	39,000		
34102301	花き園芸振興事業	経済部 グリーンセンター	21,292	22,678	22,678	48	現状維持で実施
			41,000	39,000	39,000		

施策評価調書(2)

評価対象年度	28年度
--------	------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名		② 都市農地の保全					
事業コード	事業名称	担当課	28年度 事業費 (決算見込額)	29年度 事業費 (予算額)	30年度 事業費 (計画額)	28年度の 総評価	29年度の 実施方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費		
34200101	農業体験事業	経済部 農政課	54	40	40	50	効率化して実施
			2,870	2,730	2,730		
34200201	鳥獣保護緑地保全対策事業	経済部 農政課	60	60	60	54	現状維持で実施
			1,230	1,170	1,170		
34200301	地域農業活性化事業	経済部 農政課	12,794	12,236	12,236	54	現状維持で実施
			7,380	7,020	7,020		

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	34100102	事業名称	川口緑化センター指定管理者管理運営費		事業区分	主要な事業 政策宣言18
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2427	新規・継続	継続

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	III 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公益財団法人川口緑化センター	川口緑化センターの利用者及び市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	指定管理者により川口緑化センターを管理運営することで、植木を中心とする花き等、本市の特産農業の振興を図り、豊かな自然環境の保全及び地域社会の発展に寄与する。	指定管理者により川口緑化センターの管理運営を行う。 ・特産農業の振興に関する業務(講習会及び体験事業等の実施並びに情報収集及び情報提供等) ・川口緑化センターの利用許可に関する業務 ・川口緑化センターの施設及び設備の維持管理に関する業務	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	指定管理者による管理運営 ・各種講習会、展示会、園芸相談及び展示会等の実施 ・会議室等の貸与 ・施設の維持管理及び軽易な修繕 ・物品販売	項目	実績 単位
活動の成果【定性的評価】	緑化団体と連携している公益財団法人川口緑化センターが指定管理者となることにより、効果的で効率的な施設運営がなされ、特産農業の振興及び地域社会の発展に寄与した。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	003細目	03細々目	川口緑化センター指定管理者管理運営費					
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	131,542			123,513			133,303					
決算額(B)	125,336											
財源	特定財源	7,840										
	一般財源	117,496										
概算人件費(C)	1,640			1,560			2,340					
従事職員人数(人)	常勤	0.20	再任用	0.00	常勤	0.20	再任用	0.00	常勤	0.30	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	126,976			125,073			135,643					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	施設の老朽化が進んでおり、今後、隣接する川口市営植物取引センターも含めた緑化関連施設の整備計画及び活用方策を検討していく必要がある。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	34100302	事業名称	都市農業対策事業			事業区分	主要な事業 政策宣言11
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2427	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	全国都市農業振興協議会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	都市農地の保全と都市農業の振興を推進する。	全国都市農業振興協議会へ参画する。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	全国都市農業振興協議会に参画し、他の地方公共団体と連携して国等への働きかけを行った。	項目	実績 単位
		協議会総会の出席	1 回
活動の成果【定性的評価】	全国都市農業振興協議会として農業形態や課題の類似する都市が連携し、意見交換を行って都市農業の課題を浮き彫りにすることで、国に都市の特性に応じた法制度の構築を促す。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種類	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種類	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計			06款			01項			03目			004細目			01細々目			都市農業対策事業
年度	28年度						29年度						30年度						
予算現額(A)	250						250						250						
決算額(B)	65																		
財源	特定財源						0												
	一般財源						65												
概算人件費(C)	2,050						2,730						2,340						
従事職員人数(人)	常勤	0.25	再任用	0.00	常勤	0.35	再任用	0.00	常勤	0.30	再任用	0.00							
	総事業費(A又はB+C)			2,115			2,980			2,590									

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
46 /60	協議会の活動が実り、都市農業振興基本法が制定され、都市農業振興基本計画が策定された。今後は、協議会に参画する他の地方公共団体と連携をとりつつ、引き続き、国等に対して都市農業の必要性を訴えていくが、協議会に参画する団体の減少が課題となっている。	29年度 効率化して実施 30年度 効率化して実施 31年度 効率化して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	34100401	事業名称	川口農業塾開催事業			事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2429	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 21 年 ~ 平成 - 年
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 市民等	受益者(最終的に受益を受ける人) 同左	
事業の概要	事業の目的(何のために) 都市化の進展、農業従事者の高齢化及び担い手不足により、農地及び農家数が減少しているという現状を踏まえ、意欲ある農業の担い手の育成及び確保を図る。	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか) 年間を通して営農実践研修を実施する。(研修用農地100㎡の1区画を受講者1人が耕作する)	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 年間を通じて研修用農地で耕作をする。農業技術指導員によるカリキュラムに従い営農実践研修を行った。		主な活動実績
			項目
			実績
活動の成果【定性的評価】	川口農業塾は、埼玉県農林振興公社主催の見沼就農予備校の入門コースと同様のカリキュラムで、成果として修了生4人が見沼就農予備校へ進学している。また、研修継続の一環として、サポーター制度を導入しており、7人が参加している。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	川口農業塾修了者数	目標値	1	1	1
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	1 達成
指標・目標値の説明(算定式)		受講者の100%修了を目指す				
指標②	名称	見沼就農予備校への入学者数	目標値	5	5	5
	単位	人	指標の種別	成果	実績値・達成状況	4 未達成
指標・目標値の説明(算定式)		就農意欲を継続(ステップアップ)とみなし成果とする				

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	004細目	02細々目	川口農業塾開催事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	1,871			1,947			1,947	
決算額(B)	1,559							
財源	特定財源	777						
	一般財源	782						
概算人件費(C)	8,200			7,800			7,800	
従事職員人数(人)	常勤	1.00	再任用	0.00	常勤	1.00	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	9,759			9,747			9,747	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	家庭菜園の延長及び市民農園といった感覚ではなく、就農を真剣に考えている受講者を募ることが必要である。そのためにも、申し込みの段階で、川口農業塾の主旨を理解してもらう必要がある。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	34100501	事業名称	農業委員会運営費			事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2429	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和 26 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	農業委員会法 川口市農業委員会規則

■事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	農地法等に関する事項及び農地の利用の最適化の推進を図る行政委員会の運営	年間を通じて市内農地の適正利用を推進するための活動に加え、月一回の定例会議において、農地法に基づく手続き等の審査等を行っている。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	農業委員会の開催	項目	実績 単位
		委員会開催回数	12 回
活動の成果【定性的評価】	公平中立に農地制度に関する業務を執行した。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	01目	001細目	01細々目	農業委員会運営費	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	16,981			15,509			14,534	
決算額(B)	16,981							
財源	特定財源	2,356						
	一般財源	14,625						
概算人件費(C)	8,200			7,800			7,800	
従事職員人数(人)	常勤	1.00	再任用	0.00	常勤	1.00	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	25,181			23,309			22,334	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	農業委員会等に関する法の一部改正により、新制度の農業委員会が平成29年7月からスタートする。	29年度 拡充して実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	34100601	事業名称	農地基本台帳管理システム費	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2429	新規・継続
					継続

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年 ~ 平成 - 年
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	農地法第52条に備え、整備するもの

■事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 市民等のうち農地所有者	受益者(最終的に受益を受ける人)	市民等
事業の概要	事業の目的(何のために) 農地の状況、農家世帯の情報及び農家の経営状況等を電子データ化し、農地利用関係事務及び証明書発行事務の効率化に資する。	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか) 農地基本台帳システムの保守並びに最新の住基情報及び固定資産情報によるデータ異動処理を行う。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 各種照会等、事務に対応するため、最新データに更新する。	主な活動実績	項目 実績 単位
活動の成果【定性的評価】	最新のデータに更新し、農地利用関係事務及び証明書発行事務の効率化を図った。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	01目	001細目	02細々目	農地基本台帳管理システム費						
年度	28年度			29年度			30年度						
予算現額(A)	1,003			1,055			1,055						
決算額(B)	1,003												
財源	特定財源	0											
	一般財源	1,003											
概算人件費(C)	3,280			3,120			3,120						
従事職員人数(人)	常勤	0.40	再任用	0.00	常勤	0.40	再任用	0.00	常勤	0.40	再任用	0.00	
総事業費(A又はB+C)	4,283			4,175			4,175						

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	今後は農地情報の公開が予定されていることから、情報の更新及び整理を確実に実施を行う必要がある。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	34100701	事業名称	農政関係広報事業			事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2429	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	現在の農業委員会、農業及び農地に関する事項について、各農家及び関係機関に情報を提供する。	農業だよりを発行し農家の世帯を中心に配布し、農業委員会や農政に関する情報を提供する。		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績		
	28年度は28年8月と29年1月に農業だよりを発行した。8月号では、農業委員会の制度改正の概要や農薬の正しい使用方法についてなどの記事を掲載した。1月号では利用権設定の実例や生産緑地制度についてなどの記事を掲載し、各農家及び関係機関に情報を提供した。	項目	実績	単位
		「川口の農業だより」第84号(8月号)	2,000	部
	「川口の農業だより」第85号(1月号)	2,000	部	
活動の成果【定性的評価】	各農家及び関係機関に現在の農業委員会、農業及び農地に関する事項について周知することができた。			

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計			06款			01項			01目			001細目			04細々目			農政関係広報事業		
年度	28年度						29年度						30年度								
予算現額(A)	69						98						98								
決算額(B)	69						98						98								
財源	特定財源						0						0								
	一般財源						69						69								
概算人件費(C)	1,394						1,326						1,326								
従事職員人数(人)	常勤	0.17	再任用	0.00	常勤	0.17	再任用	0.00	常勤	0.17	再任用	0.00	常勤	0.17	再任用	0.00					
	総事業費(A又はB+C)			1,463			1,424			1,424											

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	8月の農業だよりは、さいたま農協の各支店や市役所各支所等に設置するほか、農地基本台帳整備に係る調査説明会の際に、各農家世帯に配布することができるが、1月の農業だよりは各施設に設置するのみで各農家世帯に配布しておらず、必要な情報について周知が不十分であったため、別の配布方法を考える必要がある。	29年度 拡充して実施 30年度 拡充して実施 31年度 拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	34100801	事業名称	農政審議会経費			事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2426	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口市農政審議会条例、川口市農政審議会規則

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	農業振興に関する諸施策の計画的な推進を図る。	農政審議会を開催し、農業情勢の共有を図り、当該年度における農業行政の推進について、意見交換等を行うもの。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	農政審議会の開催	項目	実績 単位
		審議会開催回数	1 回
活動の成果【定性的評価】	農政審議会会議を通じて、農業者の代表者等から意見等を聴取することで、適正・的確で市民のニーズにあった農業振興施策を展開することができた。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計			06款			01項			02目			002細目			01細々目			農政審議会経費
年度	28年度			29年度			30年度												
予算現額(A)	202			391			391												
決算額(B)	89																		
財源	特定財源	0																	
	一般財源	89																	
概算人件費(C)	984			2,340			2,340												
従事職員人数(人)	常勤	0.12	再任用	0.00	常勤	0.30	再任用	0.00	常勤	0.30	再任用	0.00							
総事業費(A又はB+C)	1,073			2,731			2,731												

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
46 /60	農業従事者の高齢化及び担い手不足、都市化による農地の減少及び遊休農地の拡大等、本市の農業を取り巻く環境は大変厳しい状況にある。そのような中、更なる農業振興施策を展開するため、今後は特産農産物の高付加価値化(ブランド化)を検討していく必要がある。	29年度 拡充して実施 30年度 拡充して実施 31年度 拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	34100901	事業名称	農業経営改善事業			事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2428	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 11 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	農業経営基盤強化促進法

■事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	認定農業者(農業経営基盤強化促進法に基づく農業経営改善計画が市の認定を受けた農業者及び法人)	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	「農業経営基盤強化促進法」に基づき市が策定した基本構想に示された効率的かつ安定的な農業経営体を目指して、自らの農業経営を改善しようとする意欲及び能力のある農業者を育成並びに支援していく。	埼玉県職員及び農協職員の参画のもと、農業経営改善計画の認定を行うとともに、農業経営の向上などを目的とした研修会を開催する。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	農業経営改善計画の認定事務	項目	実績 単位
		新たに認定された認定農業者	15 人
活動の成果【定性的評価】	自らの農業経営を改善しようとする意欲及び能力のある農業者の育成につながった。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種類	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種類	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計			06款			01項			02目			003細目			01細々目			農業経営改善事業
年度	28年度			29年度			30年度												
予算現額(A)	122			132			132												
決算額(B)	0			0			0												
財源	特定財源			0			0												
	一般財源			0			0												
概算人件費(C)	2,050			1,950			1,950												
従事職員人数(人)	常勤	0.25	再任用	0.00	常勤	0.25	再任用	0.00	常勤	0.25	再任用	0.00							
	総事業費(A又はB+C)			2,050			2,082			2,082									

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	9 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	8 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	足りなかった	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
39 /60	認定後のアフターフォロー及び効率的で効果的な研修会の実施について検討する必要がある。	29年度 効率化して実施 30年度 効率化して実施 31年度 効率化して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	34101001	事業名称	緑化産業活性化事業			事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2428	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和 63 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、緑化産業活性化事業補助金交付要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	農業関係団体	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民等及び農業関係団体の交流を通して緑化に対する理解を深めるとともに、農業関係団体の自主事業を支援することにより、地場産業である緑化産業の活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンロードウォーキング開催事業に対する支援 ・みどりの地球号in安行開催事業に対する支援 	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	農業関係団体が実施する事業に対して補助金を交付する。	項目	実績 単位
		申請件数	2 件
活動の成果【定性的評価】	農業関係団体の積極的な活動により、地場産業である緑化産業の活性化に寄与した。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	グリーンロード・ウォーキング参加者数	目標値	500	700	
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	471 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)		過去の実績を考慮			
指標②	名称	みどりの地球号in安行来場者数	目標値	8,000	8,000	8,000
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	9,000 達成
	指標・目標値の説明(算定式)		過去の実績を考慮			

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	002細目	01細々目	緑化産業活性化事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	1,230			1,630			1,630	
決算額(B)	1,230							
財源	特定財源	0						
	一般財源	1,230						
概算人件費(C)	3,280			3,120			3,120	
従事職員人数(人)	常勤	0.40	再任用	0.00	常勤	0.40	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	4,510			4,750			4,750	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	12 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
53 /60	ニーズに合った事業内容を検討する。	29年度 拡充して実施 30年度 拡充して実施 31年度 拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	34101101	事業名称	園芸振興事業			事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2428	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 13 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、園芸振興事業交付金交付要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	農業関係団体	市民等及び農業関係団体	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	農業関係団体の生産及び販売体制の近代化並びに販路拡張を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 川口市安行の花・緑と物産展示即売会開催事業に対する支援 並木元町公園花植木市開催事業に対する支援 展示・即売会参加団体への支援 展覧会参加団体への支援 	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	農業関係団体が実施する事業に対して交付金を交付する。	項目	実績 単位
		申請件数	23 件
活動の成果【定性的評価】	特産園芸品の生産及び販売体制の近代化並びに市場の拡張及び地場産業の振興に寄与した。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	川口市安行の花・緑と物産展示即売会来場者	目標値	20,000	20,000	20,000
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	18,450 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を考慮				
指標②	名称	並木元町公園花植木市来場者数	目標値	4,000	4,000	4,000
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	5,069 達成
	指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績を考慮				

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	002細目	02細々目	園芸振興事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	4,900			5,400			5,400	
決算額(B)	4,859							
財源	特定財源	0						
	一般財源	4,859						
概算人件費(C)	3,280			3,120			3,120	
従事職員人数(人)	常勤	0.40	再任用	0.00	常勤	0.40	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	8,139			8,520			8,520	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	12 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
55 /60	ニーズに合った事業内容の検討及び農業関係団体に対して制度の周知を図る。	29年度 拡充して実施 30年度 拡充して実施 31年度 拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	34101201	事業名称	農業改良普及事業			事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2428	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 13 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、農業改良普及事業交付金交付要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	関係団体	市民等及び関係団体	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	農業生産及び経営技術の向上並びに意欲ある農業後継者の育成を推進し、都市農業経営の確立及び発展を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 川口市花の文化展開催事業に対する支援 特産農業推奨事業に対する支援 農業後継者育成事業に対する支援 	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	農業関係団体が実施する事業に対して交付金を交付する。	項目	実績 単位
		申請件数	4 件
活動の成果【定性的評価】	関係機関及び農業関係団体との緊密な連携の下に、農業経営の安定及び後継者の育成を図るとともに、特産園芸の近代化に寄与した。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	川口市花の文化展来場者数	目標値	3,000	3,000	3,000
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	3,500 達成
	指標・目標値の説明(算定式)		過去の実績から考慮			
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	002細目	03細々目	農業改良普及事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	5,200			5,200			5,200	
決算額(B)	5,186							
財源	特定財源	0						
	一般財源	5,186						
概算人件費(C)	6,150			5,850			5,850	
従事職員人数(人)	常勤	0.75	再任用	0.00	常勤	0.75	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	11,336			11,050			11,050	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	12 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
53 /60	ニーズに合った事業内容の検討及び農業関係団体に対して制度の周知を図る。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	28年度
--------	------

事業コード	34101301	事業名称	植物取引センター指定管理者管理運営費	事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2427	新規・継続
					継続

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 24 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 公益財団法人川口緑化センター	受益者(最終的に受益を受ける人)	農業者及び市民
事業の概要	事業の目的(何のために) 指定管理者により川口市営植物取引センターを管理運営することで、植木を中心とする花きの生産及び流通の円滑化並びにこれらの取引の適正化を促進するとともに、特産農業の振興を図る。	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	指定管理者により川口市営植物取引センターの管理運営を行う。 ・花きの生産及び流通に関する情報の収集、分析及び提供 ・川口市営植物取引センターの施設及び設備の利用に関すること
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 指定管理者による管理運営 ・植木等の生産及び流通に関する情報の収集、分析及び提供 ・施設の利用許可 ・施設の維持管理及び軽易な修繕	主な活動実績	項目 実績 単位
活動の成果【定性的評価】	緑化団体と連携している公益財団法人川口緑化センターが指定管理者となることにより、効果的で効率的な施設運営がなされ、花きの生産及び流通の円滑化並びにこれらの取引の適正化が促進され、特産農業の振興が図られた。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	003細目	05細々目	植物取引センター指定管理者管理運営費
年度	28年度			29年度			30年度
予算現額(A)	17,895			17,780			18,813
決算額(B)	17,895						
財源	特定財源	5,430					
	一般財源	12,465					
概算人件費(C)	410			390			780
従事職員人数(人)	常勤	0.05	再任用	0.00	常勤	0.05	再任用
総事業費(A又はB+C)	18,305			18,170			19,593

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	施設の老朽化が進んでおり、今後、隣接する川口緑化センターも含めた緑化関連施設の整備計画及び活用方策を検討していく必要がある。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	34101401	事業名称	特産園芸品展示即売会開催事業			事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2428	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 27 年 ~ 平成 28 年
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等及び農業関係団体等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市内特産品物のPR及び消費拡大を図るとともに、農業関係者と住民の相互交流を促進し、地場産業の振興及び緑化産業の活性化を図る。	・特産園芸品等の展示即売	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	花き及び地元野菜等の販売、子どもイモ掘り体験及び花育体験教室の実施。	項目	実績 単位
活動の成果【定性的評価】	地産池消の推進と消費拡大を図るとともに、市民が農とふれあう機会を提供することで、農の魅力をPRし、本市農業への理解が深まった。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	特産園芸品展示即売会来場者数	目標値	13,000		
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	11,500 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)		前回の実績から考慮			
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	005細目	01細々目	特産園芸品展示即売会開催事業						
年度	28年度			29年度			30年度						
予算現額(A)	2,390			0			0						
決算額(B)	2,317												
財源	特定財源	0											
	一般財源	2,317											
概算人件費(C)	1,640			0			0						
従事職員人数(人)	常勤	0.20	再任用	0.00	常勤	0.00	再任用	0.00	常勤	0.00	再任用	0.00	
総事業費(A又はB+C)	3,957			0			0						

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	9 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
44 /60	10月～11月は農業者の繁忙期であり、市内で農業関係イベントが多く開催される時期であることから、28年度をもって廃止とする。	29年度 廃止 30年度 — 31年度 —

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	34101501	事業名称	第8回世界盆栽大会出展事業			事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2428	新規・継続	新規	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 28 年 ~ 平成 29 年
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	農業関係団体等	市内農業者等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	盆栽文化の普及及び技術の向上並びに国際間の親善交流を目的として開催される「第8回世界盆栽大会」に出展し、本市特産園芸品である盆栽のPRを行い、ひいては本市農業の活性化を図る。	さいたまスーパーアリーナで開催される「第8回世界盆栽大会」においてPRブースの出展	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	市内盆栽団体等との意見交換会の開催	項目	実績 単位
		意見交換会の開催	7 回
活動の成果【定性的評価】	平成29年4月に開催される「第8回世界盆栽大会」に向けて、出展方法等の内容等調整を図った。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	03目	006細目	01細々目	第8回世界盆栽大会出展事業					
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	1,924			2,096			0					
決算額(B)	1,760											
財源	特定財源	0										
	一般財源	1,760										
概算人件費(C)	2,870			1,950			0					
従事職員人数(人)	常勤	0.35	再任用	0.00	常勤	0.25	再任用	0.00	常勤	0.00	再任用	0.00
	総事業費(A又はB+C)	4,630			4,046			0				

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	不明			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	会期中の出展手法について、今後の取引につながるようなPR方策を検討する。	29年度	完了
		30年度	—
		31年度	—

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	34101601	事業名称	農産物生産等実態調査事業			事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2429	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市内に住所を有する農業者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	市内に住所を有する農業者の農業生産の実態を把握して、農業行政の基礎資料とする。	農地基本台帳整備に係る調査に併せ、市内に住所を有する農業者を対象に農作物の品目ごとの販売量等、生産状況を調査し、集計したものは基礎資料として、県等の照会に対する回答の資料として活用する。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
		項目	実績 単位
		農作物生産等実態調査 調査表配布	1,238 件
農作物生産等実態調査 調査表回収	749 件		
活動の成果【定性的評価】	市内に住所を有する農業者の農業生産の実態について、集計表を作成し、農業行政の基礎資料とした。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	04目	002細目	01細々目	農産物生産等実態調査事業					
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	523			521			521					
決算額(B)	435											
財源	特定財源	0										
	一般財源	435										
概算人件費(C)	902			858			858					
従事職員人数(人)	常勤	0.11	再任用	0.00	常勤	0.11	再任用	0.00	常勤	0.11	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	1,337			1,379			1,379					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	低かった	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	低かった	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
46 /60	調査の匿名性を優先しており、調査表は無記名回答となっていることから、回答率が低いうえに無記入回答が多いため、正確な数値を把握できていない。より正確な数値を得るために、回答者の意見等をふまえ、調査方法を検討する。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	34101701	事業名称	農業施設設置助成事業			事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2428	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 12 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、農業施設設置助成事業助成金交付要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	農業者及び農業法人等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	都市化の進展による農業経営環境の変化に対処するため、営農意欲のある農業者等が、園芸施設等を設置する場合には、その経費の一部を助成することによって、農業経営の改善及び近代化を推進し、集約的で付加価値の高い農業の振興を図る。	農業資金の融資を受けて農業施設を設置する農業者等に対し、事業費の15%を助成する。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	申請がなかったため未実施	項目	実績 単位
活動の成果【定性的評価】	未実施のため評価なし		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	04目	002細目	04細々目	農業施設設置助成事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	519			750			750	
決算額(B)	0							
財源	特定財源	0						
	一般財源	0						
概算人件費(C)	1,230			1,170			1,170	
従事職員人数(人)	常勤	0.15	再任用	0.00	常勤	0.15	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	1,230			1,920			1,920	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	低かった	9 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	3 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	12 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	足りなかった	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
35 /60	周知方法を拡充するとともに、ニーズに合った事業内容を検討する。	29年度 現状維持で実施
		30年度 現状維持で実施
		31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	34101801	事業名称	農業金融対策事業			事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2428	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和 59 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	埼玉県農業経営改善関係資金基本要綱、埼玉県農業近代化資金取扱要綱、川口市補助金等交付規則、川口市農業近代化資金利子補給に関する条例、施行規則、取扱要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	農業者及び農業法人等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	農業経営の安定化、近代化及び生産の増強を図る。	農業者等が、農業経営の改善のために資金を借り入れた場合に、利子の一部を補給又は助成する。	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	既存借入分の利子に対して補給及び助成を行った。	項目	実績 単位
		農業近代化資金利子補給	3 件
		農業経営基盤強化資金利子助成	2 件
活動の成果【定性的評価】	農業者等の経済的負担が軽減され、経営の安定に貢献するとともに、農業意欲の向上を図った。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	農業近代化資金利子補給件数	目標値	4	4	4
	単位	件	指標の種別	成果	実績値・達成状況	3 未達成
	指標・目標値の説明(算定式)		過去の実績及び景気動向を考慮			
指標②	名称	農業経営基盤強化資金利子助成件数	目標値	2	2	2
	単位	件	指標の種別	成果	実績値・達成状況	2 達成
	指標・目標値の説明(算定式)		過去の実績及び景気動向を考慮			

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目		一般会計		06款	01項	04目	002細目	05細々目	農業金融対策事業				
年度		28年度		29年度		30年度							
予算現額(A)		328		287		287							
決算額(B)		277											
財源	特定財源	78											
	一般財源	199											
概算人件費(C)		1,230		1,170		1,170							
従事職員人数(人)		常勤	0.15	再任用	0.00	常勤	0.15	再任用	0.00	常勤	0.15	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)		1,507		1,457		1,457							

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	11 / 15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 / 15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 / 15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 / 15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 / 60	農業者の高齢化等による設備投資が抑制されているが、事業活用されるよう、今後も更なる周知を図る。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	34101901	事業名称	グリーンセンター施設運営費			事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和	42	年	～		年
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興					
根拠法令等						

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等			同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	グリーンセンターの円滑な施設運営と入園者の利便性を高めること			入園券・案内パンフレット等の印刷、売札委託業務、券売機借上げ		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			主な活動実績		
	入園券印刷ロール紙の購入、売札業務委託契約の締結及び自動販売機の借上契約の締結			項目	実績	単位
活動の成果【定性的評価】	入園者への適切な対応が図れたことで、利便性が高まった。					

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	05目	003細目	01細々目	グリーンセンター施設運営費						
年度	28年度			29年度			30年度						
予算現額(A)	23,203			24,124			24,124						
決算額(B)	22,453												
財源	特定財源	10,275											
	一般財源	12,178											
概算人件費(C)	1,722			1,638			1,638						
従事職員人数(人)	常勤	0.21	再任用	0.00	常勤	0.21	再任用	0.00	常勤	0.21	再任用	0.00	
総事業費(A又はB+C)	24,175			25,762			25,762						

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
44 /60	売札業務等を滞りなく行い、各種事業に対する入園者の満足度をあげる。	29年度 現状維持で実施
		30年度 現状維持で実施
		31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	34102001	事業名称	イベント広報事業			事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和	43	年	～		年
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興					
根拠法令等						

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等			同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	市民への緑と憩いの場を提供し、心身の健康増進に資するとともに、当センターの集客増を図り、本市の知名度を向上させる。			<ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催 ・園芸教室 ・林間教室 		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			主な活動実績		
	<ul style="list-style-type: none"> ● イベント開催・桜草展・スプリングフェア・ホテル観賞・ビアガーデン・グリーンフェスティバル・洋蘭展・椿展等 ● 園芸教室・コンテナガーデン・バラ/大菊/山野草/ハーブ等育て方・松竹梅寄植え・クリスマスリース作り等 ● 林間教室・竹/木実工作・カブト虫を育てる等 			項目	実績	単位
				イベント開催	28	回
			園芸教室	21	回	
			林間教室	34	回	
活動の成果【定性的評価】	市民に憩いの場や家族との触れ合いの場を提供し、心身の健康増進に資することができた。また、特に教室参加者に対しては、多種多様な植物への興味関心を促し、知識や技術を提供することができた。					

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計			06款	01項	05目	003細目	02細々目	イベント広報事業			
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)				15,265			15,730			15,730		
決算額(B)				15,134								
財源	特定財源			6,969								
	一般財源			8,165								
概算人件費(C)				32,800			31,200			31,200		
従事職員人数(人)	常勤	4.00	再任用	0.00	常勤	4.00	再任用	0.00	常勤	4.00	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)				47,934			46,930			46,930		

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
44 /60	各種の事業実施団体の高齢化による継続的運営の不安定化及び次世代への継承が困難であることから、緑化関係事業への参加・運営へと繋がるよう、子どもを含めた若い世代が興味を引くような講座等を開催し、併せて広報PRを継続的に行っていく。	29年度 現状維持で実施 30年度 効率化して実施 31年度 効率化して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	34102101	事業名称	わんぱく広場遊園事業			事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和	60	年	～		年
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興					
根拠法令等	川口市立グリーンセンター設置及び管理条例					

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等			同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	わんぱく広場の施設維持及び管理運営を行う			ミニ鉄道の保守運行管理、わんぱく広場の清掃、樹木、芝生等の管理及び遊具の安全な使用に関する指導等。わんぱく広場の施設の維持管理		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			主な活動実績		
	わんぱく広場の施設修繕			項目	実績	単位
活動の成果【定性的評価】	安全・安心な施設維持及び管理運営が出来た。					

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位		指標の種別	実績値・達成状況		
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	05目	003細目	03細々目	わんぱく広場遊園事業					
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	38,568			38,450			38,450					
決算額(B)	37,988											
財源	特定財源			36,817								
	一般財源			1,171								
概算人件費(C)	9,850			11,700			11,700					
従事職員人数(人)	常勤	1.00	再任用	0.50	常勤	1.50	再任用	0.00	常勤	1.50	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	47,838			50,150			50,150					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
44 /60	施設等老朽化が顕著に見られるようになり、小規模修繕等では対応出来ないことが多くなってきている。今後、大規模修繕などが必要である。		29年度	現状維持で実施
			30年度	現状維持で実施
			31年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	34102201	事業名称	植物園花木展示事業			事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	季節の植栽・展示を行い緑化意識の高揚を図る。	花木の維持管理及び植物の栽培 鳥類及び魚類の飼育 花木及び植物の展示 園芸、造園及び緑化等の相談 委託業務の指導、監督		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績		
	園内の植栽・樹木・芝生・花壇・園路や広場・自然林の管理及び植物展示等。園内清潔の保持、害虫の駆除等。鳥類の飼育等。 園芸相談や技術指導の実施等。 委託業務設計・指導・監督、園内廃棄物処理等。	項目	実績	単位
活動の成果【定性的評価】	入園者、市民の緑化意識の高揚が図れた。			

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	05目	003細目	04細々目	植物園花木展示事業	
年度	28年度			29年度		30年度		
予算現額(A)	80,045			77,715		74,106		
決算額(B)	78,390							
財源	特定財源	27,401						
	一般財源	50,989						
概算人件費(C)	41,000			39,000		39,000		
従事職員人数(人)	常勤	5.00	再任用	0.00	常勤	5.00	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	119,390			116,715		113,106		

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	一年を通して、来園者が、園内の植栽や展示などを見て安らぎや緑化意識の高揚が図れるような管理・展示を継続的に行っていく必要がある。また、危険な樹木が、直営の作業ではまかなえきれない規模になっており、適正な空間と安全確保のために、継続的かつ計画的に撤去作業をする必要がある。	29年度 拡充して実施 30年度 拡充して実施 31年度 拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	34102301	事業名称	花き園芸振興事業			事業区分	通常事業
担当	経済部	グリーンセンター	問い合わせ先	281-2319	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ① 都市農業の振興
根拠法令等	

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	農業の振興並びに入園者の緑化意識の高揚を図る	植物の調査・研究 花き園芸の育種、実験栽培改良 園芸振興施設及び大温室の維持管理 園芸技術の指導 展示公開	
28年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績	
	盆栽管理委託、植物管理委託 園芸振興施設等管理委託 温室ガラス清掃委託 球根処理所冷凍機点検委託 各種展示及びボランティア受入れに伴う研修	項目	実績 単位
活動の成果 【定性的評価】	農業の振興並びに入園者の緑化意識の高揚が図れた		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	05目	003細目	05細々目	花き園芸振興事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	22,899			22,678			22,678	
決算額(B)	21,292							
財源	特定財源	6,869						
	一般財源	14,423						
概算人件費(C)	41,000			39,000			39,000	
従事職員人数(人)	常勤	5.00	再任用	0.00	常勤	5.00	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	62,292			61,678			61,678	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	入園者に対して温室等の植物の展示を見て、安らぎや緑化意識の高揚が図れるような管理等を継続的に行っていく必要がある	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	34200101	事業名称	農業体験事業			事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2428	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	年 ~ 年
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ② 都市農地の保全
根拠法令等	

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民等が気軽に農と触れ合えるよう、農業体験を通じて農業を知る機会をつくり、農に対する理解促進を図る。	・サツマイモの収穫体験の開催 ・家庭菜園講習会の開催	
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ・サツマイモの収穫体験 ・野菜づくりの知識とコツを講義形式で学ぶ家庭菜園講習会の開催	主な活動実績	
		項目	実績 単位
		参加者数(サツマイモの収穫体験)	47 人
		参加者数(家庭菜園講習会・春)	30 人
参加者数(家庭菜園講習会・秋)	25 人		
活動の成果【定性的評価】	都市住民の生活に潤いを与えるとともに、都市農業への理解促進に寄与した。		

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	目標値				
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称	目標値				
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	02目	004細目	01細々目	農業体験事業					
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	56			40			40					
決算額(B)	54											
財源	特定財源	24										
	一般財源	30										
概算人件費(C)	2,870			2,730			2,730					
従事職員人数(人)	常勤	0.35	再任用	0.00	常勤	0.35	再任用	0.00	常勤	0.35	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	2,924			2,770			2,770					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	サツマイモ収穫体験は市民のニーズが高く、「農が誇れるまち川口」の実現に直結する事業と捉えている。しかしながら、市所有の農地は狭隘である等の制限があることなどから、他の実施手法の検討も不可欠である。	29年度 効率化して実施 30年度 効率化して実施 31年度 効率化して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	34200201	事業名称	鳥獣保護緑地保全対策事業			事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2428	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	昭和	43	年	～		年
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ② 都市農地の保全					
根拠法令等	鳥獣保護及び狩猟の適正化に関する法律、鳥獣保護農業緑地保全対策事業実施要領					

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民			同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	鳥獣保護区内の自然環境及び農業緑地の保全を図る。			鳥獣保護緑地保全対策業務委託		
28年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			主な活動実績		
	新郷、安行、戸塚及び神根の4地区にわたる「川口鳥獣保護区」並びに旧芝川下流の「旧芝川鳥獣保護区」を巡回し、使い捨て針(釣針)の回収やかすみ網による密猟の発見及び通報などを行い、鳥獣の保護と農業緑地の保管理を行う。			項目	実績	単位
				巡回回数	24	回
活動の成果 【定性的評価】	委託業者が、定期的に鳥獣保護区を中心とするパトロールを実施し、使い捨て針(釣針)等の危険物の回収を行い、地区内の農地等が保全された。					

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					
指標②	名称		目標値			
	単位	指標の種別	実績値・達成状況			
	指標・目標値の説明(算定式)					

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	04目	002細目	02細々目	鳥獣保護緑地保全対策事業					
年度	28年度			29年度			30年度					
予算現額(A)	60			60			60					
決算額(B)	60											
財源	特定財源			0								
	一般財源			60								
概算人件費(C)	1,230			1,170			1,170					
従事職員人数(人)	常勤	0.15	再任用	0.00	常勤	0.15	再任用	0.00	常勤	0.15	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	1,290			1,230			1,230					

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行わなかった	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	本事業は具体的な成果を数値で表しにくいものの、事業費以上の予防効果があると考えるところから、現状維持で実施する。	29年度	現状維持で実施
		30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 28年度

事業コード	34200301	事業名称	地域農業活性化事業			事業区分	通常事業
担当	経済部	農政課	問い合わせ先	2428	新規・継続	継続	

■事業期間・根拠等

事業期間	平成 12 年 ~ 年
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” - 4 魅力ある農業の振興 - ② 都市農地の保全
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、地域農業活性化事業交付金交付要綱

■事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	農業関係団体等	市民等及び農業関係団体等		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	農業者間の連帯及び農業関係団体等の活性化を促進し、加えて地域住民との協調の上に立った農業の振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・農業関係団体が主催する研修及び調査等に対する支援 ・農業祭開催事業及び緑と大地の豊年まつり開催事業に対する支援 ・農業協同組合が実施する市民農園の新規開設及び運営管理に対する支援・農業関係団体が行うブランド化に対する支援 ・緑化産業カタログの作成 		
28年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な活動実績		
	<ul style="list-style-type: none"> ・農業関係団体等が実施する事業に対して交付金を交付する。 ・市内の緑化産業をPRするカタログの作成をする。 	項目	実績	単位
活動の成果【定性的評価】	農業関係団体等の活性化及び特産農産物のPRに寄与した。	申請件数	20	件

■事業活動・成果の状況

				28年度	29年度	30年度
指標①	名称	緑と大地の豊年まつり来場者数	目標値	18,000	18,000	18,000
	単位	人	指標の種別	結果	実績値・達成状況	19,520 達成
	指標・目標値の説明(算定式)		過去の実績を考慮			
指標②	名称	市民農園区画数	目標値	572	572	572
	単位	区画	指標の種別	成果	実績値・達成状況	579 達成
	指標・目標値の説明(算定式)		過去の実績を考慮			

■年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	06款	01項	04目	002細目	03細々目	地域農業活性化事業	
年度	28年度			29年度			30年度	
予算現額(A)	13,081			12,236			12,236	
決算額(B)	12,794							
財源	特定財源	0						
	一般財源	12,794						
概算人件費(C)	7,380			7,020			7,020	
従事職員人数(人)	常勤	0.90	再任用	0.00	常勤	0.90	再任用	0.00
総事業費(A又はB+C)	20,174			19,256			19,256	

■視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

■総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	ニーズに合った事業内容の検討及び農業関係団体に対して制度の周知を図る。	29年度 現状維持で実施 30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施